

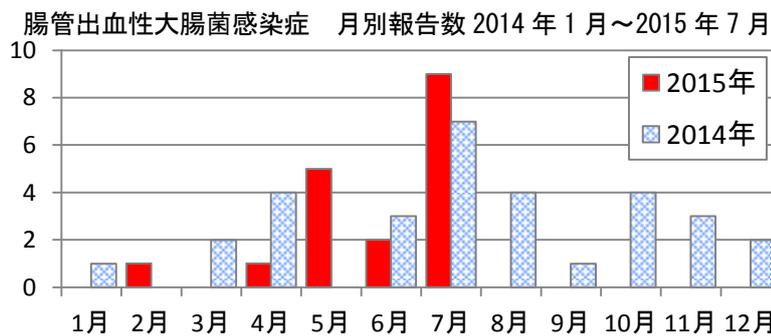
宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

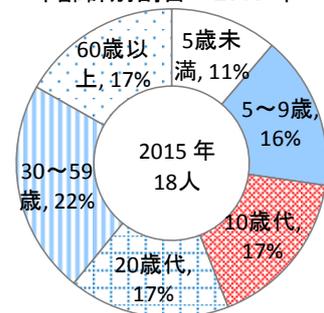
宮崎県第31週の発生動向

トピックス

・**腸管出血性大腸菌感染症**（全数把握の感染症）の報告が宮崎市保健所管内で1例、小林保健所管内で3例、高鍋保健所管内で2例あった。2015年の累計報告数は18例(昨年同時期と同程度)となった。



腸管出血性大腸菌感染症 年齢群別割合 2015年



・**手足口病**（小児科定点把握の対象となる疾患）の定点当たりの報告数は19.6で、第25週(6/15~6/21)から7週連続で流行警報レベル基準値(5.0)を超過した。現行の感染症法となった平成11年(1999年)以降最も多い報告数であった。詳細後述。

全数報告の感染症（31週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核6例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症6例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例。

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類 結核	宮崎市	70歳代	女	肺結核	症状なし
		80歳代	男	肺結核	胸痛
		80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
	都城	80歳代	男	肺結核	痰
	小林	80歳代	男	肺結核	痰
	高鍋	20歳代	女	疑似症患者	咳、痰
3類 腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	腹痛、O26(VT1,2産生)
	小林	5~9歳	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O103(VT1産生)
		5~9歳	女	—	症状なし、O血清群不明(VT1産生)
		10歳代	男	—	症状なし、O血清群不明(VT1産生)
	高鍋	0~4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O157(VT1,2産生)
		40歳代	女	—	症状なし、O115(VT1産生)
5類 侵襲性肺炎球菌感染症	都城	60歳代	男	—	発熱、咳、意識障害、肺炎、菌血症、横紋筋融解、急性腎不全 ワクチン接種歴不明

□ 定点把握の対象となる5類感染症

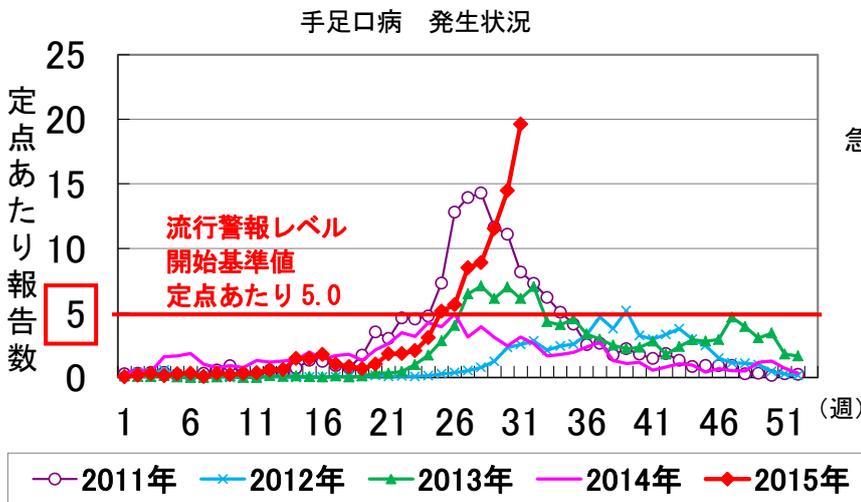
・定点医療機関からの報告総数 1,241人(定点当たり 36.7)で、前週比 120%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

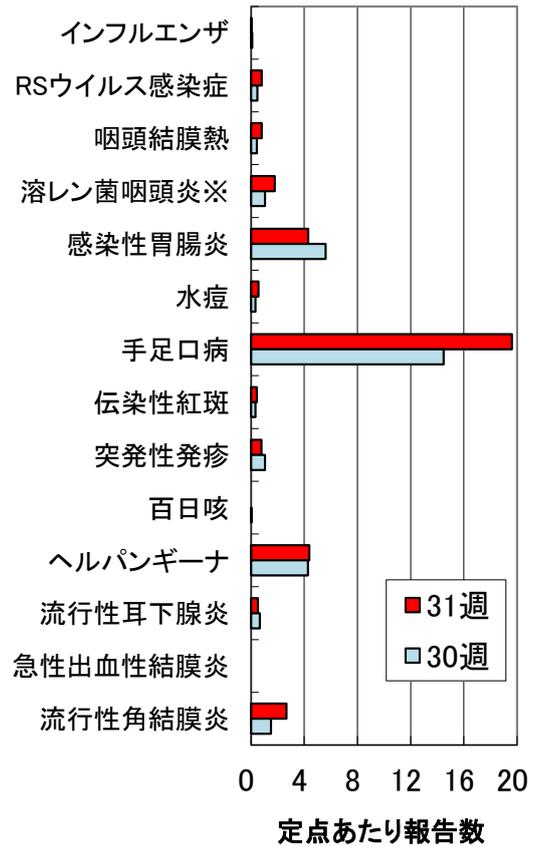
【手足口病】

・報告数は706人(19.6)で、前週比136%と大幅に増加した。流行警報レベル開始基準値(5.0)を7週連続で超過した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.0)の約3.9倍と多い。宮崎市(26.1)、都城(23.3)、日南(22.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約7割を占めた。

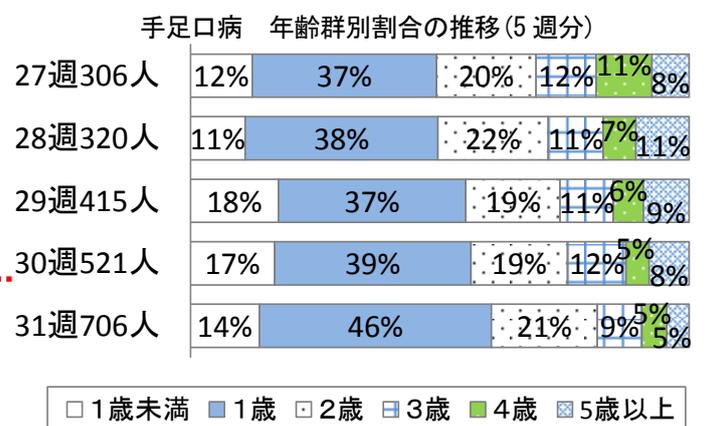
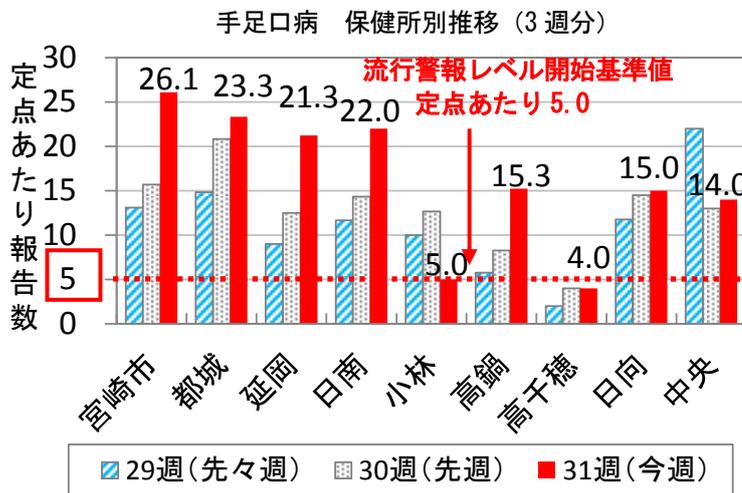
*過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値。



《前週との比較》



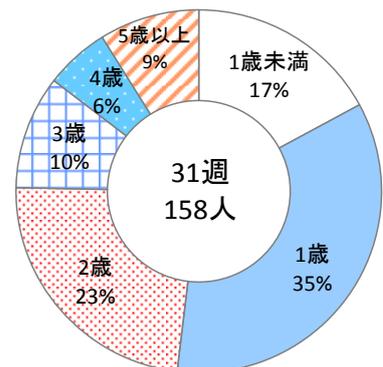
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

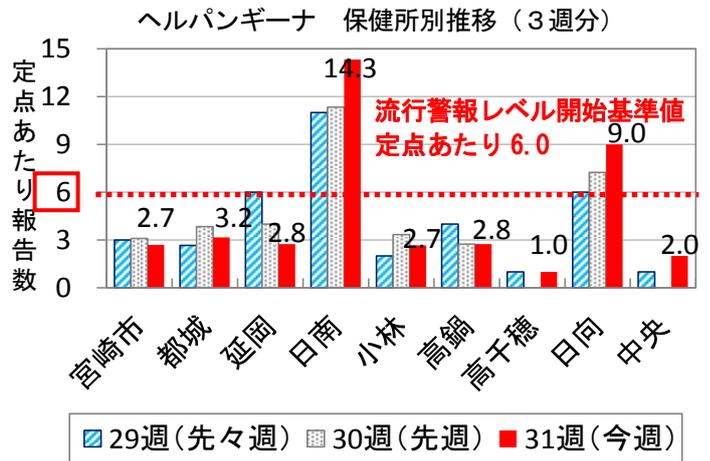
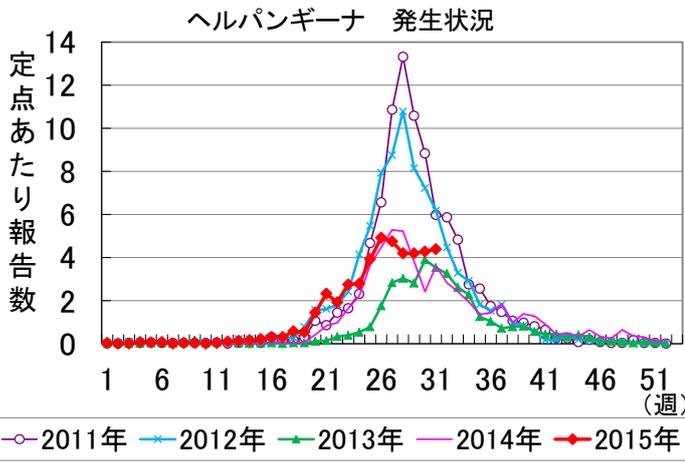


【ヘルパンギーナ】

・報告数は158人(4.4)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(4.2)の約1.1倍であった。日南(14.3)、日向(9.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナ 年齢群別割合





★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(26.1)
都城	手足口病(23.3)
延岡	手足口病(21.3)
日南	手足口病(22.0)、ヘルパンギーナ(14.3)
小林	手足口病(5.0)、流行性耳下腺炎(5.0)
高鍋	手足口病(15.3)
高千穂	なし
日向	手足口病(15.0)、ヘルパンギーナ(9.0)
中央	手足口病(14.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

🇯🇵 全国第 30 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 30 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	290 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	97 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	4 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	3 例	レジオネラ症	44 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例	急性脳炎	6 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	13 例	水痘 (入院例)	2 例
	梅毒	20 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	4 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 86%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

手足口病の報告数は 29,504 人(9.4)で前週比 92%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(4.4)の約 2.1 倍と多い。石川県(19.2)、埼玉県(18.2)、福島県(16.9)からの報告が多く、年齢別では 1~2 歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 8,866 人(2.8)で前週比 84%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(4.0)の約 0.7 倍と少ない。三重県(7.8)、山梨県・佐賀県(各 5.5)からの報告が多く、年齢別では 1~3 歳が全体の約 6 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第31週(7月27日～8月2日)

疾病名		第30週	第31週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5	1								1	
	定点あたり	0.08	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	17	29	9	12						8	
	定点あたり	0.47	0.81	0.90	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	16	29	1	2	6	7		3		9	1
	定点あたり	0.44	0.81	0.10	0.33	1.50	2.33	0.00	0.75	0.00	2.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	38	64	16	3	19	6		5		8	7
	定点あたり	1.06	1.78	1.60	0.50	4.75	2.00	0.00	1.25	0.00	2.00	7.00
感染性胃腸炎	報告数	202	155	41	22	5	28	25	7	3	19	5
	定点あたり	5.61	4.31	4.10	3.67	1.25	9.33	8.33	1.75	3.00	4.75	5.00
水痘	報告数	12	20	11	1	3	1	3	1			
	定点あたり	0.33	0.56	1.10	0.17	0.75	0.33	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	521	706	261	140	85	66	15	61	4	60	14
	定点あたり	14.47	19.61	26.10	23.33	21.25	22.00	5.00	15.25	4.00	15.00	14.00
伝染性紅斑	報告数	12	16	8	2	2		2	1		1	
	定点あたり	0.33	0.44	0.80	0.33	0.50	0.00	0.67	0.25	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	38	28	10	1	6	3	1	4		2	1
	定点あたり	1.06	0.78	1.00	0.17	1.50	1.00	0.33	1.00	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	154	158	27	19	11	43	8	11	1	36	2
	定点あたり	4.28	4.39	2.70	3.17	2.75	14.33	2.67	2.75	1.00	9.00	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	24	19	1		2		15	1			
	定点あたり	0.67	0.53	0.10	0.00	0.50	0.00	5.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	16	8	7	1						
	定点あたり	1.50	2.67	2.67	3.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～31週)

2類感染症	結核	131例(6)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18例(6)					
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	4例	つつが虫病	3例	
	日本紅斑熱	5例	マラリア	1例	レジオネラ症	3例	
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例	
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	
	後天性免疫不全症候群	12例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例(1)	
	水痘(入院例)	1例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	2例	
	破傷風	5例					

()内は今週届出分、再掲